

2024年度岩手ブロック協議会
会長立候補意見書

一般社団法人 大船渡青年会議所
中野 圭

【はじめに】

私たちJAYCEEにとって本当に必要となるのは、今行動を起こすことです。

行動を起こすことで得られる経験が、次の行動へつながります。だからこそ、課題に直面しどうにかしたいと思い立った際の感情の爆発を、即座に行動する情熱に変換し、今実践していきましょう。その結果として、思うような成果が得られないことがあったとしても、それは失敗ではありません。次の行動への過程として、自身の糧となります。

岩手県は2000年より人口減少に転じ、少子高齢化社会の真っ只中にあると同時に、地域コミュニティの機能低下、自然災害の頻発化・激甚化、岩手の経済を支えてきた第一次産業の就業者数減少といった状況下にあり、不確実性の高い未来が予想されています。こうした事象は事実として受け入れた上で、益々複雑化、個別化、多様化する社会課題を見定め、それに立ち向かうために、今動いていかなければなりません。

不確実な未来だからこそ、情熱を原動力として仲間と共に今動くことができるJCは、間違いなく地域に必要とされる団体です。志を同じくする県内各地メンバーがつながり、行動の原動力である情熱の熱量を増していくことで、不確実な中でも確実な一步を踏み出せる力強い岩手を実現して参ります。

【行動を呼ぶリーダーの育成】

「行動を呼ぶリーダー」とは、自らが動いた結果として、周囲が当事者意識を持ち、主体的な行動を波及的に増やしていくことのできる人材のことです。不確実性の高い社会は、今動くことでより良いものにしていくことができますが、それは一人の行動や一組織の行動だけでは効果は限定的となってしまいます。より課題解決の効果を高めるために他者を巻き込み行動を呼ぶことが求められます。

行動を呼ぶために重要なのは、まず自らが行動すること、その想いとプロセスを他者へ伝えること、楽しむことの3点です。行動を呼び、また次の行動と挑戦が行なわれていく過程を通じて、岩手ブロック協議会がLOMで活躍できる人材を育成し、その先に、それぞれのまちがより良く変化していくことへつなげることができます。そのような、行動を呼ぶリーダーの育成を目指すと同

時に、共に地域をより良くしていく主体である市民に向けて、行動を呼ぶリーダーの必要性を発信していきます。

【岩手ブロック協議会のあり方 ―人材育成を主軸としたLOMサポートの充実―】

JCの運動はLOMを起源としその後協議会が組織されていった歴史を鑑みても、LOMの運動に真髓があることは間違いありません。ブロック協議会が果たすべき最も重要な役割は、LOMがその活動と運動を一層推進するためのサポートであるといえます。その内容を見定め、ニーズに即したサポートができるよう邁進していきます。

具体的には、アカデミーをはじめとするメンバーの「人材育成機関」を主軸として、日本青年会議所や他団体との連携によるスケールメリットを活かした「地域活性化事業」、ヒト・モノ・カネ・情報などのリソースをつなぐ「ネットワークキング」、の3点に力を入れた運動を担っていきます。もちろんこうした運動を実践するにあたりLOMのニーズを把握し、ブロック協議会ならではの価値を発揮して参ります。

こうした運動が実現した先にあるのは、県内各地において多重多発的に多様で個性あふれる運動が起こる活気に満ちた世界です。LOMから必要とされる部分へピンポイントに、思い切って注力することで、LOMがより一層活き活きと事業展開できる環境を作って参ります。

【結びに ―行動とつながりが育まれる岩手を目指して―】

東日本大震災という未曾有の災害と、それから10年を経て世界を混迷に落とした新型コロナウイルスのパンデミックを経験して明確になったのは、人と人とのつながりこそが我々の人生を豊かにする最良の要素だということでした。思い返してみてください。私自身もそうですし、きっと皆さんもJCに入ってからまた多くの出会いがあり、多くの人とつながることができたことと思います。これぞ人生の宝であり、これぞJCの醍醐味です。この喜びをたくさんの仲間と共に分かち合い、仲間と共に成長していきたいと皆さんも思うのではないのでしょうか。

そしてこの人とのつながりは、紛れもなく今行動するために必要となる勇気を育んでくれます。人間は情熱や楽しさがあっても、一人ではなかなか未知への一步を踏み出すことはできません。見守ってくれる仲間がいるから、支えてくれる仲間がいるから、一緒に動いてくれる仲間がいるからこそ、不確実性の中でも行動へ移すことができるのです。

これからも多くの出会いとつながりを生み出し、そのつながりを活かして行

動がもたらされ、その結果としてさらに豊かなつながりが育まれる岩手を創出していきます。これまで脈々と受け継がれてきた岩手への想いを胸に抱き、歴史に学びながらも今のブロック協議会が実現できるかたちを妥協せず追求し、ベストを尽くして行動して参ります。